

高崎芸術劇場

6 台のフルコンソートグランドピアノ

高崎芸術劇場が誇るフルコン6台が大劇場に集結！
選定したピアニスト本人によるピアノ選定にまつわる
エピソードとともに機種の特性やそれぞれの個性を
聴き比べるディープなピアノの世界



PROGRAM

仲道郁代
©Kiyotaka Saito



金子三勇士
©Seiichi Saito

第一部「スタインウェイ D274&ペーゼンドルファー 290 インベリアル」(金子三勇士選定)

出演：金子三勇士、小井土文哉
曲目：ミヨー/スカラムージュ、ガーシュウィン/3つのプレリュード

スペシャル「6台ピアノ演奏&フォトタイム」

出演：金子三勇士、小井土文哉、伊藤正、黒沢真木子、種井悠太、高橋明香
曲目：チャイコフスキー/「くるみ割り人形」より『花のワルツ』

第二部「ヤマハ CFX」(仲道郁代選定)

出演：仲道郁代、萩原麻未
曲目：ドビュッシー/月の光、ボロディン/韃靼人の踊り、ラヴェル/ラ・ヴァルス

2023

6/7
(水)

高崎芸術劇場 大劇場

入場無料 (定員約1,800名、公募抽選)

※ピアノ選定の経緯をまとめたブックレット付き
※未就学児は入場できません
※応募方法は裏面をご覧ください

14:00開演(13:30開場)

高崎芸術劇場

TAKASAKI CITY THEATRE

主催：高崎芸術劇場 (公益財団法人高崎財団)

『高崎芸術劇場6台のフルコンサートグランドピアノ』

高崎芸術劇場の施設・設備の紹介と様々な体験を提供するオープンシアターの第7弾。

高崎芸術劇場が誇るフルコンサートグランドピアノ6台が大劇場に集結！ 選定したピアニスト本人によるピアノ選定にまつわるエピソードとともに、機種の特長やそれぞれの個性を聴き比べるディープなピアノの世界。

ピアノを選んで劇場に入れるということは劇場に魂を吹き込むということ——そう言われるほど、ピアノは劇場に無くてはならないもので、その劇場の評判をも左右します。高崎芸術劇場では仲道郁代、金子三勇士両氏にそれぞれの機種の個体選定を依頼しました。劇場にとって一度しかない選定がどのように行われたのか、アーティストはどのような視点でどのような音色のピアノを選定したのか。選定者自身のレクチャー・演奏によって当劇場自慢のピアノの音色を余すところなく味わい尽くす最初で最後の機会。さらには6台ピアノの演奏あり、6台のピアノを撮影できるフォトタイムありと、様々な角度からピアノを楽しむことができる渾身の企画です。



©Kiyotaka Saito
仲道 郁代

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。ピッツバーグ響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ドイツ・カンマーフィル等、海外のオーケストラと共演多数。CDはレコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」「ドビュッシーの見たもの」他。著書に『ピアニストはおもしろい』（春秋社）他。ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 リサイタル・シリーズ」を展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。 オフィシャルHP <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



©Seichi Saito
金子 三勇士

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学。2001年、11歳飛び級でハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学し、2006年に全課程取得とともに帰国、東京音楽大学付属高等学校に編入。同大学、大学院を修了。2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々のコンクールで優勝。第22回出光音楽賞他を受賞。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」にレギュラー出演。2021年は日本デビュー10周年を迎えた。それを記念して2022年3月にはドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」をリリースした。スタインウェイ・アーティスト。 オフィシャルHP <http://miyuji.jp/>



©Marco Borggreve

萩原 麻未

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベトナムなどでオーケストラとの共演や室内楽奏者として演奏を重ねているほか、ヨーロッパ各地の様々な音楽祭に招かれている。



伊藤 正

ウィーン市立音楽大学ピアノ科を首席にて卒業。抒情的な音楽性と繊細なタッチで好評を得る。指導者としても多くの実績を挙げコンクールの審査員なども務める。ペヒシュタインジャパン特任講師。高崎演奏家協会会長。



種井 悠太

国立ザルツブルグモーツアルテウム音楽大学でG.ケルンに師事。同大学および大学院ピアノ演奏科を共に最優秀の成績で修了。在学中、スイスに拠点を置くモーツアルト・アンサンブルのメンバーとして演奏活動を行う。



©Kei Uesugi

小井土 文哉

2017年浜松国際ピアノアカデミーコンクール、18年日本音楽コンクール第1位。19年ヘイスティンクス国際ピアノ協奏曲コンクール第1位。22年には、英ロイヤル・フィルのソリストとして英国ツアーを行う。桐朋学園ソリストディプロマコースを経て、イタリア・イモラ音楽院を修了。現在、同音楽院ポスト・ディプロマコースに在学中。



黒沢 真木子

東京音楽大学ピアノ演奏家コースを経て、東京音楽大学大学院鍵盤楽器研究科修了。第20回日本クラシックコンクール大学生の部第4位等、受賞歴多数。リサイタル等の演奏活動のほか、後進の指導にも力を入れている。



高橋 明香

桐朋学園大学音楽学部卒業。上野久子氏に師事し、繊細で力強く色彩豊かな音を追求させる指導に感銘を受ける。第9回三善見コンクール特別部門第2位他多数受賞。同大学附属『子供のための音楽教室』高崎教室研究員。

入場券の応募方法

A **B** いずれかの方法でお申し込みください。

A はがきに必要な事項 ①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④希望人数(1人か2人、車いす席を希望の場合はその旨を記載)を記載し、下記までご郵送ください。
〒370-0841 高崎市栄町9-1 高崎芸術劇場「6台ピアノ係」

B 右記のQRコードを読み込み、専用の応募フォーム(Google フォーム)から必要事項を入力してください。

締め切り 5月12日(金)(当日消印有効)

当選された方 5月中旬に指定席入場券を郵送します。ご来場いただけませんと空席となりますのでご配慮をお願いいたします。

応募フォーム



高崎芸術劇場へのアクセスご案内



高崎芸術劇場 〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1 TEL.027-321-7300

[電車] JR高崎駅東口から徒歩5分<上越・北陸新幹線 東京駅～高崎駅(約50分)>

[自動車] 関越自動車道 高崎IC・高崎玉村SICから車で約15分

※高崎芸術劇場には専用駐車場および提携駐車場はありません。

※高崎芸術劇場「大劇場」での公演開催日には無料のシャトルをご利用いただけます。(詳細は下部をご覧ください)

※詳細な交通アクセス・近隣駐車場・シャトルの情報につきましては、当劇場HP内のアクセス案内(右記のQRコード)よりご確認ください。

アクセス案内



高崎芸術劇場の「大劇場」での公演開催日に運行します 高崎芸術劇場シャトル

〈高崎芸術劇場〉と〈ウエストパーク1000〉および〈アートパーク高崎東〉間において、来場者を送迎します。

往路 開演時間の2時間前～開演時間まで



- 乗車は無料です。 ●お申し込みは不要です。
- 約5分間隔で運行します。
- 最大9人まで乗れるジャンボタクシーを使用します。

復路 終演時～終演後 約1時間後まで



- ※混雑時は10～15分程お待ちいただく場合があります。
- ※満員の場合はご乗車できない場合があります。
- ※駐車料金の割引はありません。
- ※高崎駅東口のシャトル乗り場と降り場は、場所が違いますのでご注意ください。

